

スカウター

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1911 で書かれています

<p>1</p>		<p>戦闘力を測りたい画像を用意し、スライドいっばいに配置します。</p>
<p>2</p>		<p>「挿入」→「図形」→「四角形：角を丸くする」。</p>
<p>3</p>		<p>適当な大きさとで四角形を描きます。 左上にあるオレンジの●を動かして、角の丸みを強くします。</p>
<p>4</p>		<p>「図形の塗りつぶし」→「緑」。 「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>
<p>5</p>		<p>「図形の効果」→「面取り」→「ソフトラウンド」。</p>

6		<p>「図形の書式設定」をクリック。 画面右に「図形の書式設定ウィンドウ」が開きます。</p>
7		<p>「塗りつぶし」→「透明度」に「40」と入力。</p>
8		<p>「挿入」→「図形」→「四角形：角を丸くする」を選択し、 ←のように四角形をスライドからはみ出るように描きます。</p>
9		<p>「図形の塗りつぶし」→「白」。 「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>
10		<p>「図形の効果」→「3-D 回転」→「透視投影：右」。</p>
11		<p>こんな風になります。</p>

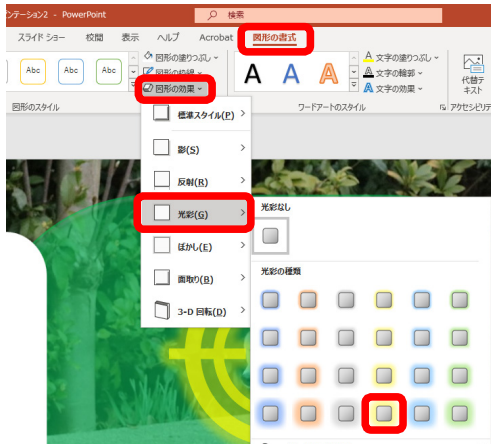
12		「挿入」→「アイコン」。
13		「分析」から照準のような図形を選択し、「挿入」。
14		中心が戦闘力を測りたいものに重なるようにサイズ・位置を調整。
15		「図形に変換」。 注意が出ますが、「はい」。
16		真ん中の丸を選択し、「Delete」キー。

17



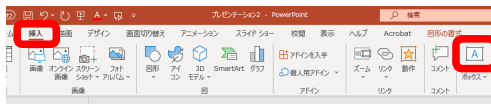
画面右の「図形の書式設定」で
「色」を「黄」。
「透明度」を「40」。

18



「図形の書式」→「図形の効果」→「光彩」
→黄色の一番下の光彩を選択。

19



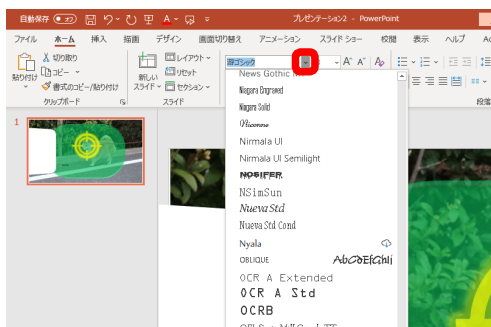
「挿入」→「テキストボックス」。

20



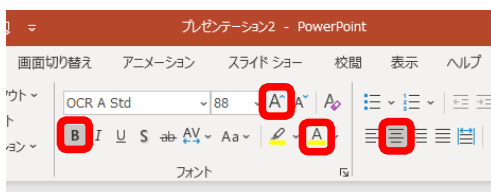
テキストボックスを作り、
「000000」と0を6個入力。

21



テキストボックスの枠をクリックして選択し、
フォントをデジタルっぽいものにします。
例では「OCR A Std」を使っています。

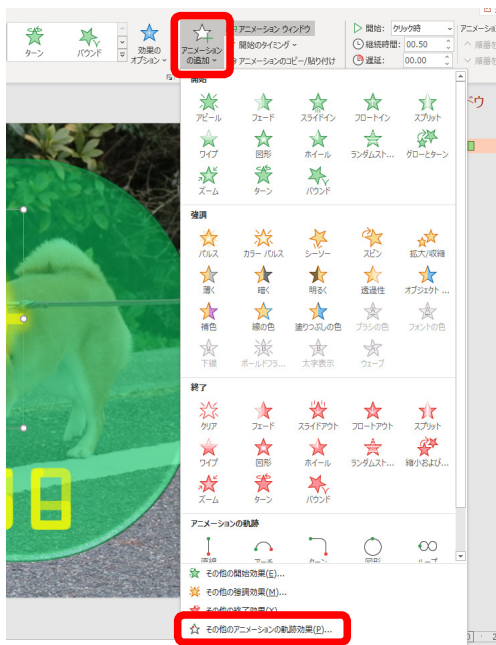
22



B で太字。
≡ で中央揃え。
A で文字色を黄色。
A で適当にサイズを大きく。

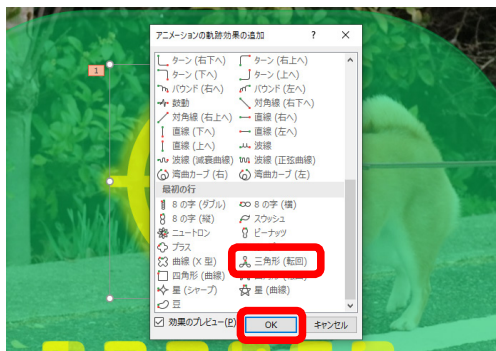
23		<p>「図形の書式設定ウィンドウ」の「文字のオプション」 →「透明度」を「40」に。</p>
24		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで複製し、「123456」と入力。</p>
25		<p>「000000」に「123456」をぴったり重ねます。</p>
26		<p>「アニメーション」 →「アニメーション ウィンドウ」で「アニメーション ウィンドウ」を開きます。</p> <p>※ すでに開いている場合は必要ありません。「図形の書式設定ウィンドウ」は使わないので閉じてOKです。</p>
27		<p>照準をクリックして選択し、「アニメーションの追加」→開始「ズーム」。</p>

28



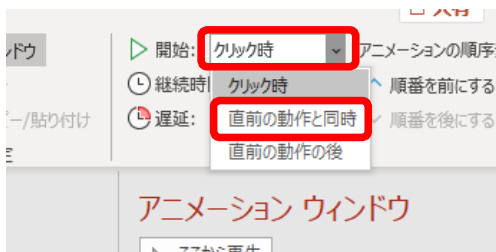
再び照準をクリックし、
「アニメーションの追加」→
「その他のアニメーションの軌跡効果」。

29



「三角形（転回）」を選択し、
「OK」をクリック。

30



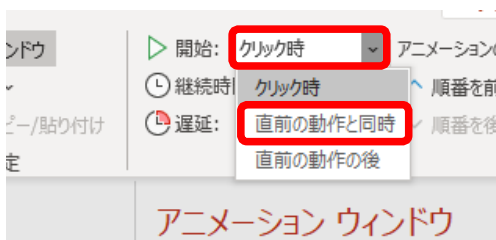
「開始」を「直前の動作と同時」。

31



再び照準をクリックし、
「アニメーションの追加」→強調「スピン」。

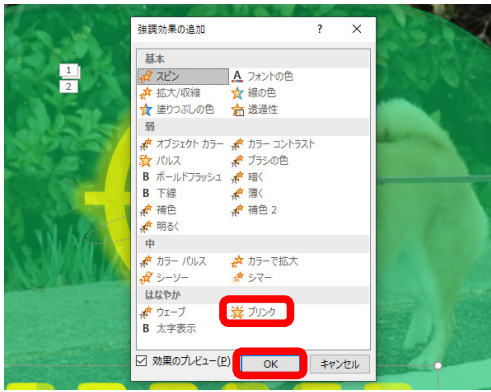
32



「開始」を「直前の動作と同時」。

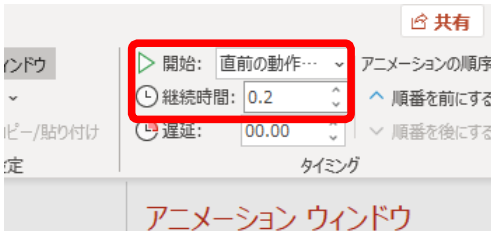
33		<p>「アニメーション ウィンドウ」の「スピン」の項目をダブルクリック。</p> <p>「効果ウィンドウ」が開きます。</p>
34		<p>「タイミング」タブをクリック。</p> <p>「繰り返し」を「次のクリックまで」。</p> <p>「OK」をクリック。</p>
35		<p>「Shift」キーを押しながら、「123456」のテキストボックスをクリックして選択。</p> <p>※「Shift」キーを押しながらだと、テキスト入力モードにならずにテキストボックス自体を選択できます。</p>
36		<p>「アニメーションの追加」→開始「フェード」。</p>
37		<p>「開始」を「直前の動作と同時」。</p>
38		<p>「Shift」キーを押しながら、「123456」のテキストボックスをクリックして再度選択。</p> <p>「アニメーションの追加」→「その他の強調効果」。</p>

39



「ブリンク」を選択し、
「OK」をクリック。

40



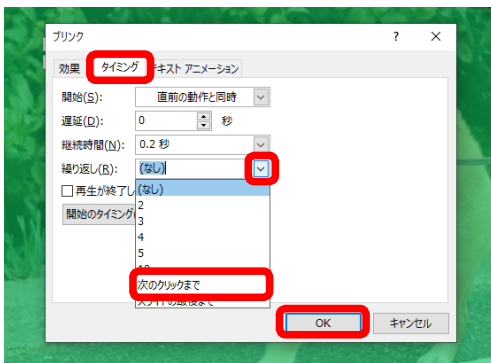
「開始」を「直前の動作と同時」。
「継続時間」に「0.2」と入力。

41



「アニメーション ウィンドウ」の
一番下の「テキストボックス」の項目を
ダブルクリック。

42



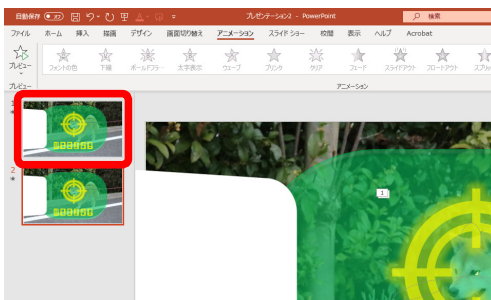
「タイミング」タブをクリック。
「繰り返し」を「次のクリックまで」。
「OK」をクリック。

43



「F5」キーでスライドショーを観てみましょう。
クリックすると照準が現れ、カウンターが動けば
OK です。

44



画面左のスライドのサムネイルをクリックし、
「Ctrl」 + 「D」 キーで複製。

45		<p>「Shift」キーを押しながら、「アニメーション ウィンドウ」の一番上と一番下の項目をクリックして全選択。「Delete」キーでアニメーションを全て削除。</p>
46		<p>「Shift」キーを押しながら、「123456」のテキストボックスをクリックして「Delete」キーで削除。</p>
47		<p>残った「000000」のテキストボックスに好きな戦闘力を入力。</p> <p>「F5」キーでスライドショーを観てみましょう。スカウターが動いた後、再度クリックをすると、戦闘力が確定します。</p>